

【岩国市】
ネットワーク整備計画

1 必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合（％）

岩国市立学校の44校（小学校30校、中学校14校）において、「学校のネットワーク改善ガイドブック（令和6年4月付け文部科学省）」（以下「ガイドブック」という。）に示された「当面の推奨帯域」（以下「推奨帯域」という。）を達成している学校は19校であり、総学校数に占める割合は43.2％である。

「校内通信ネットワーク環境整備等に関する調査（令和5年11月付け文部科学省調査）」における簡易帯域測定結果に1.4倍した数値で評価。

ただし、本市は9つの地域ごとに拠点ルーターを設置し、学校からイントラネット網を経由してインターネット接続を行う集約型のネットワーク構成となっている。そのため、全学校を個別に測定した本調査の結果を基にした推奨帯域の達成状況は、必ずしも現状を現すものではない。

2 必要なネットワークの速度の確保に向けたスケジュール

（１）ネットワークアセスメントによる課題特定のスケジュール

本市においては、推奨帯域を満たしていない理由は特定できており、外部機関によるネットワークアセスメントを実施する予定はない。

（２）ネットワークアセスメントを踏まえた改善スケジュール

課題となっている集約拠点の改善に向け、令和7年度に、一部の集約拠点においてルーターのトラフィック量、セッション数、メモリ及びCPU使用率並びに、ウェブサイト別の利用数を調査する。その結果を分析し、対策として集約拠点の分散化（回線数の増加）とコンテンツキャッシュ導入のいずれが有効か判断する。

（３）ネットワークアセスメントの実施等により、既に解決すべき課題が明らかになっている場合には、当該課題の解決の方法と実施スケジュール

（２）の分析の結果、有効と認めた対策を令和8年度以降に実施する予定である。また、その後も、ネットワークとそれを取り巻く環境は変化する可能性があることを踏まえると、ネットワークアセスメントを一度実施しただけでは不十分であるため、継続的にアクセスポイント、校内LAN、WAN、集約拠点、ISPなどの全体に対し、ガイドブックに基づくセルフチェックを行い、逐次、課題の発見と解消に取り組むこととする。